

栄養を学びながら、選手として漕艇（ローイング）競技で国内トップレベルの戦績を勝ち取った学生を取材。

トップアスリート
インタビュー



全日本インカレ ダブルスカル 3 位

女子総合優勝にも貢献!



学びを活かして 競技で実証!

スポーツ栄養学科 4 年

古賀南奈子 さん

長崎県立大村城南高等学校卒



① アスリートとして最も大事にしていることは何でしょうか?

何事にも関心を持ち学び続けることです。専門の競技だけでなく、様々な事に関心を持つことで視野が広がります。常に学ぶことで現状に慢心せず、トレーニングの質を向上させ、人生も豊かにすることができます。

② 仙台大学に入学してよかったことは何でしょうか?

応援し見守ってくださる先生方や友人が多く人として成長することができ、部活動ではトレーニングに集中出来る環境が整っており、のびのびと活動できる所がとても良いところです。

③ 将来に向けての抱負を聞かせて下さい。

将来は人と関わる職場に就き、その人が目標を達成するための手助けがしたいです。そのために、大学生活で学んだ何事にも関心を持ち学び続けていき、いろんな経験を通して誰かの支えになれるよう精進します。

[バックナンバーはこちら](#)

[学科概要はこちら](#)

[「栄養」関係教員紹介はこちら](#)